



ゆたか福祉会キャラクター
ゆたかめくとみらいちゃん



障害者の ゆたかな **未来** をめざして



「追いかへひまわり」
ゆたか作業所
デイ現場の皆さん
※紹介が11ページに
あります。

CONTENTS

- ▶ コロナの中でも工夫して
新成人を祝う会 ～初めてリモートで開催しました～ P2
- ▶ 2021年度 資格取得者紹介 P4～5

2021年7月10日 毎月1回10日発行 一部100円（法人会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます）

発行 / 社会福祉法人ゆたか福祉会 〒457-0852 名古屋市南区泉楽通四丁目5番地3
TEL 052-698-7356 FAX 052-698-7358 <http://www.yutakahonbu.com/>



愛知県ファミリー・
フレンドリー・マーク

ゆたか福祉会

検索

コロナの中でも工夫して

新成人を祝う会を初めてリモートで開催しました。ゆたか作業所

コロナ禍の中、作業所では2020年度当初より、様々な行事や取り組みの中止や自粛等の対応をしてきました。「新成人を祝う会」についても、感染状況によっては中止もやむなしとじていましたが「何とか開催できないか」と決定を先延ばしにしてみました。

「現実味を帯びてきた」

リモート方式での開催

新しい生活様式での生活にも慣れ、最初は不慣れだったリモート方式の会議形態も私たちの生活に溶け込むようになりました。「この方式であればできるのでは」と職員の中でも具体化が次第に現実味を帯びてきました。1月開催に向け、まず関係者全員が一堂に会してお祝いをする形式から、会場をメインとサブに分けることで準備を進めました。

メイン会場には新成人の仲間3名と各現場の代表者2名が集まり、2ヶ所のサブ会場へリモートによるネット中継をす

るというものです。そんな中、1月初めに当事業所でコロナ感染者が発生し、部分閉所を余儀なくされ、お祝いムードが一気にしぼんでしまいました。それでもくじけず議論を重ね、「成人は長い人生の中で一回だけの大きな節目なので大切にしたい」「より感染対策を徹底させ、開催していこう」ということになりました。

「数々の制約の中でも」

工夫して

ゴールデンウィークが終わった5月8日、念願がなつて無事「新成人を祝う会」を開催することができました。愛知県には「まん延防止特別措置」が発令中で時間も短縮。メイン会場への代表参列は中止し、3つの活動現場をリモー

トでつないだネット中継方式としました。

今回の対象者は、特別支援学校高等部を2019年3月に卒業し、4月に入所された「きつちゃん Yutaka」の鬼頭一寧さんと藤橋遥佳さん、「にぎわい現場」の中畑未来さんの3名です。映像と音声を通し3会場がつながる中、所長挨拶から始まり、今日までの生い立ちを映像で振り返りました。また参列されたご家族から「ゆたかに入り、毎日働いて楽しそうに過ごしている」「これからも成長し、頑張つて欲しい」等のメッセージをいただきました。その後、「若者会」(仲間の自治会)の会長さんと家族会の会長さんより、お祝いの言葉とお祝い品の贈呈があ

りました。

新成人となられた皆さんからは「仕事をこれからもがんばります」など決意が出され、最後は全員で「おめでとう!!」とお祝いの言葉で締めくくりました。

「これからも新たな一歩を」

大事に

例年とは異なった「新成人を祝う会」となりましたが、何とかゆたか作業所全体でお祝いすることができました。実感したのは、新たなやり方を工夫することで可能性が広がるということです。これからも新たな一歩をたくさん、創り出していきます。

ゆたか作業所

吉田博



「キラリンに100円コンビニがオープン！」

コロナ禍以降、仲間の皆さんが楽しみにしていた買い物にも出かけることが難しくなり、この一年の間に「買い物いつ行けるの？」という質問を何度受けたか分かりません。

今年の初め、よく利用していた地域のコンビニ店様より「出られない利用者さんのために協力出来る事はないか？」とお声をかけていただきました。新しい生活様式のなか、生活を充実させる工夫はないかと考えていた矢先でも

あり、渡りに船とばかりに申し出を受けて準備を進めました。

3月、第2ゆたか希望の家の本館を「コンビニ」に変身させるため、商品を並べる陳列棚やレジ台を設置して、看板等で飾りつけをしました。商品は買取りと委託販売を組み合わせる事により、皆さんの大好きなお菓子やパン、スイーツ、ドリンクなどたくさん種類を並べる事が可能となりました。

開店当日は、職員がコンビニ店員となってお借りした制服に身を

包み、一日だけのキラリン支店がオープンしました。密になるのを避けるため、少人数ずつで買い物をしてもらいましたが、順番が待ちきれない方や閉店するまで帰れない方など、普段のお店での買い物とは違った一面も見る事ができました。

一人ひとりの好みにも応えられるように、辛いスナック菓子やカップ麺などいつも買っている「おすすめ商品」も取り揃えて、皆さんもじっくりと選んで買うことができ、大満足されていました。

新しい生活様式の工夫として始めた企画でしたが、仲間の皆さんが見せる嬉しそうな笑顔と「次はいつやるの？」という期待の声に心えられるよう、毎月の楽しい行事として取り組むことになりました。

今後は、ご協力いただけるお店をさらに拡げていければと思います。皆さんが買い物をしている姿からは、「自分で商品を手にと

キラリンと一歩便利でも紹介しました //



パン!お菓子!大好き!! //



て、レジでお金を支払う」という日常が、大切な社会参加の場であると改めて感じます。地域のお店で当たり前買い物ができる日が来るまで、キラリン支店を続けていければと思います。

永井規照

第2ゆたか希望の家

2021年度 資格取得者紹介

今年も多くの職員が新たに資格取得をされました。4月の職員集会では紹介ができませんでしたので、昨年に引き続き、今回広報誌上で紹介します。

資格を取得してからが新たなスタートです。今後の活躍に期待しています。

Question

- ・資格取得を目指そうと思った動機
- ・資格を活かしてこれから頑張りたいと思うこと

社会福祉士



ゆたか希望の家 水下 うらら

大学で福祉のことを学んでいるうちに、「将来専門職として福祉に関わるお仕事したい」と思い資格取得を目指しました。

この資格取得で得た知識を仲間と関わる上での土台にして、これからさらに色々なことを学んでいきたいです。



ゆたか希望の家 森下 直輝

資格取得を目指そうと思った動機は、日本福祉大学で福祉の知識を学んだことを形に残そうと思ったからです。

大学で学んだ福祉の基盤を活かして、仲間の生活の質が向上できるように試行錯誤していきます。



リサイクルみなみ作業所 岩口 杏奈

入社時、「社会福祉士は難しいだろう」と諦めていました。しかし、通信に通って資格を取得した先輩が周りに何人もいたことで「自分もやってみよう！」とチャレンジしました。

知識を活かして現場で活躍していきたいです。



ゆたか生活支援事業所あつた 川松 亮太

私がなぜ社会福祉士を目指そうかと思ったかと言うと、社会福祉士の資格を持つことで福祉の支援の幅が広がると思ったからです。

この資格を取得したからには、社会福祉士の名にふさわしい行動をしていきたいと思っています。

精神保健福祉士



ゆたか通勤寮 後藤 麻友香

社会福祉士に続き、周りの方々の応援のおかげで精神の資格も取得できました。ありがとうございます。

ここで終わりにならないように、今後も日々勉強と経験を積んでいきたいと思っています。



ゆたか生活支援事業所なるお 鬼頭 晴日

働く中で「福祉の事をより学びたい」「新しい事に挑戦したい」という気持ちが芽生え、取得を目指しました。

学んだ事を活かして仲間の方と一緒に、より良い生活を創っていける支援者になりたいです。

介護福祉士



ゆたか希望の家 桑野 紘佑

友人からの勧めもありましたが、やはり「介護に関する知識を身につけたい」と考え、目指しました。そして、資格を取得したから満足ではなく、仲間たちのためにも一人一人に寄り添ったよりよい支援をしていきたいと思っています。



ゆたか生活支援事業所あつた 鈴木 希美

人生の終末に向かって、どう生きるのがその人にとって幸せなのか、身近な人を見送り、ますます強く考えるようになりました。
学んだ知識を、今支援している高齢の仲間に活かしていきたい。その為の一步です。



ワークセンター フレンズ星崎 山田 麻未

日々仲間と関わるうちに、改めて知識が必要だと感じて今回資格を取得しようと思いました。
仕事、家事育児と勉強で大変でしたが、学ぶ楽しさを得ることが出来ました。資格を生かし仲間の支援に生かしていきたいと思っています。



あかつきヘルパーステーションはなキリン 宮田 ルミ子

ヘルパーを始めて3年が経ち、今後のステップアップのためと思い受験しました。日々の実践で得られることもたくさんありますが、受験することで基本から勉強した事も、自分にとってプラスとなりました。



ライフサポートゆたか 濱崎 金太郎

実務者研修をゆたか作業所時代から受講し、異動したのを機に資格取得しようと思いましたが、保育士も持っているため両方の視点から、より仲間たちの成長・発達を大事にしつつ、思いを受け止められる職員になりたいです。



グループハウスなぐら 高木 秀朋

今までは、教わった業務を安全に行うことだけを考えてきましたが、一つひとつの支援を自信をもって行えるよう介護福祉士の資格を取得しました。
学んだ介護技術を他の職員にも伝えられるよう頑張りたいと思っています。



グループホーム宝南の家 松尾 陽子

ゆたか福祉会で働きはじめ、現場で感じた疑問を自己にて解決できるように知識をつけたいと思い、資格取得を目指すことに決めました。
今後は、学んだ知識を実用化できるよう、日々努力していきたいと思っています。



デイサービス宝南 河内 優子

スキルアップのため実務者研修を受講したのがきっかけで資格取得しました。介護の知識・スキルを学んだことで自信が付き、やりがいを感じます。
現場でより良いケアができればと考えております。

社会福祉士 & 精神保健福祉士



ゆたか生活支援事業所なかがわ 水野 久美子

進路を決めるにあたり、社会福祉士を取得しようと決めました。視野を広げるため、精神保健福祉士も同時に取得しました。
資格を活かし、それぞれのストレングスを見落とさないよう支援に取り組みたいと思っています。

高齢期の 障害者家族の生活問題と社会的支援

第6回

子どもと共に「私」を生きる 〜藤田順子保護者連合会会長へのインタビュー〜

前回（広報誌5月号）で藤田会長の職員集会での挨拶の紹介原稿に、私のインタビューのことに触れていただきました。そこに書かれていた「新規採用者の皆さんの決意表明を聞くと、原点に戻って親も頑張りなくては行けない…これからも親として頑張ります」という言葉。藤田さんは、御年78歳（ご本人が書かれていたので…）。

前回の私の記事で書かせていただいたけいこさんと同じく、藤田順子さんもまた、時代のありようの中でしなやかに子育てをされ、また一人の女性の生き様としてもいろいろ考えさせていただくこととなりました。

藤田順子さんの出生

今回、私が藤田さんとお会いしたのは、ゆたか福祉会で実施している家族の高齢化問題に関する調査の一環で、高齢期に子どもと同居されている方としてご紹介いただきました。正直、研究的にも運動的にも「親が元気なうちから自立」を目指すというのが主流!?になりつつあり、親の高齢期にお

いても子どもとの同居をし続けるということとは、ときに専門職の立場からは支援が必要な方とみられる場合もあります。親が高齢期に入ってから同居し続けるということに不安はないのだろうか、今後のことをどのように考えておられるのだろうかということをおうかがいしたいというのが調査の目的でした。

藤田さんの子育て

藤田さんは、篠島で生まれ、18歳で同じ島で暮らしていた漁師の夫と結婚されました。それまで「それなりにまっとうな生き方をしたつもりだった」けれど、19歳で産まれた娘さんには障害がありました。子どもがなかなか寝返りをうたないことが気になった藤田さんは、名古屋の市民病院で診てもらい脳性麻痺という診断を受けました。子どもさんが、8ヶ月の頃から名古屋市内に住む姉の家に同居して、子どもの筋緊張を和らげるために指圧を受けに通ったそうです。指圧をやめると硬直がおこる娘の様

子を見て、水曜日と土曜日は夫のいる篠島に戻り、海女として海に潜り、治療代を稼いだそうです。

その後、子どものケアの見通しが持たず、新聞に投書したことをきっかけに母子通園施設につながります。そこで、子どもに必要なのは、指圧ではなく機能訓練であることとを理解し、「一生涯、この子にはそういうこと（療育的な支援）がついてまわる。だから田舎に帰ったらだめ」だと思い、4年間別居していた夫や両親とも親族会議をして、夫も含め家族3人で療育が続けられる名古屋市内で生活するを選択します。

初めての子どもとの別居生活

その後、娘さんは学齢期になっても就学猶予になり、行く先がありませんでした。活動を通して知り合った入所施設が、障害の重い娘さんをテストケースとして入園させてくれることになりました。自宅に戻れるのはお盆とお正月だけという親子が離れる生活になりますが、娘さんに「施設に行っ





佛教大学
田中 智子



たら学校に行けるから、頑張るか？」と聞いたところ「頑張る」といったことで決めたそうです。

6年間離れて暮らす間、親子それぞれが頑張るという約束を果たすべく、藤田さんは働き、家を買って、車の免許を取得し、車も買って、子どもと同居するための準備を進める一方で、施設の家族会や学校でも役員を務めたそうです。

その後、娘さんが中学校進学を機に再び同居をし、高校卒業、そしてゆたか福祉会を利用するようになってからの活躍ぶりは皆さんの知るところです。

藤田さんのしなやかさ

正直、藤田さんの子育てはとても逆風も大きかったのではないかと思います。藤田さんが、娘さんを産み、子育てをしてきた時代というのは、高度経済成長期において都市への人口流入がピークを迎え、多くの女性は専業主婦になり（1960年の女性の初婚年齢は24、4歳）、子育てに傾注している（1965年の25-34歳の有配偶女性の就業率は49、0%）時代であり、養護学校義務化が実現する1979年はまだ先のことです。当時の多くの女性たちの生き方とはかけ離れた部分もあり、障害児の子育

てという面でも手探りの状況だったことと思います。中学卒業までを島で暮らし、結婚された藤田さんが、障害のある子どもと二人、名古屋に出てくるのは、当時の社会の価値観からするととても大きな決断だったように思います。インタビューのときに「なぜそのような決断ができたのですか」と尋ねると、「8か月で、子どもと一緒に島を出て、大海を知ったから、小さな世界に戻ろうと思わなかった。（周囲の人は他にも子どもを産んで、みんなで娘さんのケアをしたらよいと言ったけど）子どもの面倒をみさせるために、子どもを作るなんてそんな悠長なこととはできない。そのときそのときでやるべきことはたくさんあったから」と言われました。

さらに、印象的だったのは、娘さんのことを「尊敬している」と繰り返し言われたことです。「子どもの」行くところ行くところで目的がある。子どもにできることは何でもしてあげたいと思った。あの子と一緒に生きてきたことで、私も生かされてきた。それが仕事だった。あの子が道しるべになって、導いてくれた。一人の人間として、えらいなと思っている」と言われました。そして、今、望むことは何もない、親子3人で今日も良く生きたと一杯飲む時間が何よりも幸せのことでした。

重厚な藤田さんの歩みに対して、軽い感

想になりますが、まるで朝の連続ドラマの主人公のような人生だなと思いました。ある意味で、時代に翻弄され、でも流されることなく、それぞれの場所で自分の居場所を見つけ、「私」の生きるべき道を見定める、とてもしなやかな女性だと思いました。

藤田さんからのメッセージ

藤田さんが、広報誌5月号に掲載されていたメッセージ「親として弱音を吐く時代ではない。障害者の高齢化問題と保護者の高齢者問題。この問題をこれからどうしていくのかに直面している。高齢期の障害者・家族の生活問題と社会的支援についてどうするかという問題。まだまだ日本の福祉は未熟…これからも親として頑張ります」と言わせてしまうこの社会、問題の根は深いことに気づかれます。そして、そのメッセージを送ってくださった理事の向さんのメッセージ、「この思いに込めらるる職員、事業体でありたいと願いつながら次世代育成を考える日々です」。私も藤田さんの思いを受けとめられる、そして、向さんのような現場の方と一緒に次世代育成を考えられる研究者でありたいと思う日々です。

ゆたか福祉会 2020年度工賃(賃金)実績報告

		2020年4月1日 現在の定員	2020年度 平均支払人数	2020年度 平均工賃(月額)	2019年度 平均工賃	増減 2020-2019	工賃向上計画	
							2020年度 目標	2021年度 目標
就 労 継 続 B	ゆたか作業所	15	8	33,126	29,825	3,301	31,000	33,333
	なるみ作業所	10	6	18,173	29,166	- 10,993	31,011	20,238
	つゆはし作業所	10	11	18,333	18,183	150	14,000	20,455
	ワークセンター フレンズ星崎	15	14	54,491	51,200	3,291	64,865	56,818
	トライズ	15	14	28,111	25,973	2,138	30,303	30,952
	リサイクル港作業所	40	39	63,537	48,403	15,134	53,352	53,419
	リサイクルみなみ作業所	35	33	88,520	73,303	15,217	78,111	80,800
	小 計	140	125	56,526	49,013	7,513		
生 活 介 護	ゆたか作業所	40	29	7,291	8,905	- 1,614		
	なるみ作業所	35	25	3,477	3,842	- 365		
	つゆはし作業所	20	23	6,797	7,852	- 1,055		
	ワークセンター フレンズ星崎	15	17	8,068	7,324	744		
	みらいろ	30	11	4,793	5,115	- 322		
	みのり共同作業所	30	32	14,667	12,549	2,118		
	ふれあい共同作業所	30	29	5,192	5,611	- 419		
	あかつき共同作業所	30	29	9,780	10,592	- 812		
	小 計	230	195	7,932	8,187	- 255		
移行支援	ワークセンター フレンズ星崎	6	5	14,401	10,150	4,251		
就労継続A	トライズ	15	13	191,076	187,229	3,847		
	総 計	391	338	33,287	30,408	-		

- ・ 就労継続B型事業所では利用者の工賃をさらに引き上げていくため、先日「第4期工賃向上計画」(2021～23年度)を策定したところです。生活介護事業所でも作業を位置づけて工賃を支払いその充実に取り組んでいきます。
- ・ ゆたか福祉会では活動や就労の場として、生活介護8か所(定員230名)、就労継続B型7か所(定員140名)、就労継続A型1か所(定員15名)、就労移行1か所(定員6名)を運営しています。2020年度の平均工賃は、就労継続B型では前年度に比べて増加し、56,526円と過去最高額を更新しました。生活介護では減少し、4年ぶりに8千円を下回りました。
- ・ 売上や工賃に対するコロナの影響は限定的なものでしたが、障害の重い人たちの作業活動はあいかわらず生産基盤も弱く景気に左右されがちで課題となっています。

ゆたか福祉会の事業所が加盟している「全国社会就労センター協議会(SELP)」のホームページに「#SELP チャレンジムービー」として、ワークセンターフレンズ星崎の就労継続B型現場の取材動画が公開されています。

作業現場の改善をすすめることで利用者の工賃向上につながった事例としての紹介です。著名なカメラマンによって撮影・編集が行われたこともあって、現場のようすがよく伝わる内容になっています。ぜひご覧くださいませ。



全国セルブ協 #SELP チャレンジムービー

🔍 検索

シリーズ
命を守る
その6

2021年度 正規採用職員を対象に 今年も「安全運転講習」を開催しました！

昨年度から新たに「正規採用職員研修」として位置付け、開催した「安全運転講習」。自動車学校と提携した今回の講習内容は、教習車での所内技能講習・路上走行講習・OD式適正検査・まとめの3つとしました。昨年度との変更点はワゴン車講習がなくなったこと、受講対象者を運転免許のある方全員としたことです。

2回に分けて開催し、両日あわせて16名の方が参加しました。参加した職員の感想を紹介します。

6/4 (金) 参加者 8名

第2ゆたか希望の家 眞下 明

私は免許を取得してまだ間もなく、運転に対する不安があります。今回の安全運転講習では、安全運転に対する気持ちや心構え、自分の運転適性を知り、自分に不足している部分を改めて1から学ぶことができました。

第2ゆたか希望の家では仲間を乗せ運転をすることが多いので、常に安全運転を心掛けます。

ゆたか生活支援事業所なるお 鬼頭 晴日

適性検査では、自分が気づいていない特性に気が付く事ができました。自分の特性を知り、それと上手く付き合う事も、安全運転に必要なのだと感じました。

又、まだまだ運転技術が未熟である事を痛感したので、仲間が安心して車に乗れるような運転を目指して努力していきます。

6/8 (火) 参加者 8名

つゆはし作業所 池野 真子

実技講習は特に駐車が難しく、上手くいきませんでした。「ハンドルを少しずつ切った方が良い」と、講師の方が具体的なアドバイスをしてくださり為になりました。

全体を通して運転では「注意力」と「判断力」が重要で、事故は自分の意識で防ぐことが出来るとわかりました。今後、仲間の皆さんと一緒に車に乗る機会も増えるので、今回の講習を忘れないようにしていきたいです。

デイサービス宝南 小林 美咲

安全運転講習では、適性検査、走行講習、技能講習を行いました。適性検査で自身の性格や癖、弱点を把握することができ、どの部分に注意し、これから対応していくべきなのかが分かりました。

特性に合わせた対策と心がけをしっかりと持ち、事故だけでなく、ヒヤリハットも減らせるよう努力したいと思います。

昨年度の法人への交通事故報告は、一昨年度から19件減の13件でした。コロナの影響で行事や取り組みに出かける機会が減ったことも要因と思われます。それでも毎月、何らかの事項報告は届いているわけですし、こういう時期だからこそ安全運転の取り組みが重要であると考えています。

事故状況の特徴としては「駐車場などでバックをしている時の接触事故」、「ワゴン車などで左折時、内輪差に気づかず、縁石やガードレール、柱に接触」「公道に出る時、歩道を左からくる自転車に気が付かずに接触」「狭い道路で、対向車線の車を避ける為に、過度に左に幅寄せし、電柱で接触」というものです。

ちょっとした注意で防げるものばかりともいえます。「注意1秒、怪我一生！」今年度も各事業所での出張技能診断や、安全運転推進ニュースの発効等を行い、注意喚起をしていきたいと思えます。



障害者の「親なき後」問題と成年後見制度

第7回

入院、身元保証、医療同意と成年後見制度

本人が生活をする中でけがをし、病気になることがあります。場合によっては入院をして、手術をしなければならない場合もあると思います。今回は、本人に入院する必要が出た時に後見人がどのようなことができるかをご紹介します。

◆入院と成年後見制度

成年後見人は包括的な代理権をもっているため、本人に代わって入院契約を結ぶことができます。保佐人・補助人の場合、入院の契約に関する代理権をもってれば代わりに契約できます。入院に関わる手続きも後見人が代わりにいたします。

◆身元保証と成年後見制度

入院の際に医療機関から身元保証人を求められることがあります。単に身元保証人といっても様々なことが求められます。身元保証といわれたときに求められることと後見人の対応は以下の通りとなります。

入院費などの支払い	財産管理は後見人の業務なので、本人の財産からお支払いすることができます。ただし後見人が肩代わりすることはできません。
連絡先の設定	本人の親族や支援者(グループホーム・施設の職員)と協議したうえで決めます。そのため、後見人が緊急時の連絡先になることもあります。
入院中の物品の手配	病院で日用品のレンタルをしている際にレンタルすることができるように契約をするといったサービスの手配をすることができます。しかし後見人が物品を購入しそれを持っていくといった事実行為(契約などの法律行為以外のこと)に当たることは後見人の業務ではありません。

◆医療同意と成年後見制度

例えば手術を行う際、医療機関は本人から手術してもよいという承諾をもらいます。この承諾を医療同意といいます。ご家族が本人に代わって医療同意をすることもありま。後見人は様々な代理権をもっていますが、現在のところ本人に代わって医療同意をすることはできません。これは自分の生命・身体に関することは自らでしか決めることができないと考えられているからです。

しかし後見人が医師から手術の説明を受け、その内容を本人に話して本人から同意をもらうこと、本人にもわかるように説明を求めること等、医療同意をすることはできないからといって後見人は何もできないわけではないと考えております。

◆事例

Aさん 60代男性
転倒して、近くの病院に搬送されました。後見人が病院に向かうと医師からAさんの状況と手術の方法についての説明があり、手術の同意をしてほしいといわれました。もやいば医師に対して後見人は同意する権限がないことを話したうえで、Aさんに意識があり話を聞くことができるから本人に手術の説明をしてほしいとお願いしました。医師もそれに応じて本人に対してどのような手術をするか、手術のリスク、手術しなかったときどうなるのかを丁寧に説明してくれました。その結果本人も納得をし、自ら手術を受けることになりました。

成年後見もやい事務局

表紙の作者紹介

「追いかけてひまわり」

ゆたか作業所 デイ現場の皆さん

ゆたか作業所デイ現場では、月曜日と木曜日の半日を創作の時間とし、みんなで一つの作品を作っています。まず題材をみんなで相談し、写真や散歩中に見る花などの景色からイメージを作り、一人ずつ役割を担ってもらいながらすすめます。

今回の作品は、宙に浮いているひまわりが、「まるで熱い太陽を追いかけているみたいだね!」というなかまの言葉から「追いかけてひまわり」というタイトルにしました。へには、「気分を上げていこう!」の意味が込められています。

画面いっぱい広がるひまわりのように、これから来る暑い夏を、なかまたちと元気いっぱい楽しく活動していきたいと思えます。



5月

日誌

- 17日(月) 事業運営推進会議
- 19日(水) きょうされん総会
- 20日(木) 副所長会議
- 21日(金) 広報・ホームページ編集委員会
- 25日(火) 監事監査/保護者連合会総会
- 26日(水) 所長会議
- 29日(土) 理事会
- 31日(月) 研修部会議

一般寄附(5・6月)

順不同敬称略

一柳裕子 布施一三 土井ちづ子 高橋香与子 杉浦達男 岩田恒子 清水理師 永井満 平國哲
 谷川修 糠谷彰洋 中武繁治 堀池育志 猪飼節美 近藤直子 ラ・ロシエル 野村文男 末田喜一

賛助会員新規加入者・
更新者(芳名一覧)

(5月10日～6月15日手続き分)

順不同敬称略

末田喜一 永井満 篠原美津江 篠原直人 松本齒科 篠原直人 野原信一 駒村忠俊 橋本由美 悦雄

※利用者・保護者・職員の皆さんからも多くのご寄附をいただきました。

ありがとうございました

広報・462号

2021年7月号(2021年7月10日発行)

定価1部100円

法人協会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます

発行・編集 / 社会福祉法人ゆたか福祉会

印刷 / 株式会社東海共同印刷

法人協会会費・賛助会費・寄附金など福祉会への申し込み、ご送金は

法人協会会費 = 年間1口6,000円、
賛助会員(個人1口3,000円、企業団体等1口5,000円)

●銀行口座 名義はいずれも社会福祉法人ゆたか福祉会

・三菱UFJ銀行 柴田支店 普通預金 291-884
 ・中京銀行 鳴海支店 普通預金 150-425

●郵便振替口座 00820-8-54026 社会福祉法人ゆたか福祉会

その人らしく働く 暮らす

Vol.95

仲間

「見てて下さい！僕の変身！」

ゆたか生活支援事業所かさでら 浅谷真澄さん



浅谷さんは今年で44歳、みのり共同作業所で働き始めて22年になります。現在はウエス現場の所属です。

大の家族思いでボーナス交渉の際には必ず「家族にごちそうをおごつてあげたい」と話されます。

2019年4月、「かさでらホーム」の開所と共に入居された浅谷さん。他法人のショートステイや法人内の体験利用経験もあり、入居の際も慣れた様子が見られました。

ホームでの生活も3年目。洗濯や皿洗いをとても丁寧に仕上げることが出来たり、洗濯物を干すことを通して前日から天気を気にされたり、雨天には自室それでも乾かない時には浴室乾燥を職員にお願いしたりと工夫されるようになりました。ゴミ出し当番では、ホームの一員で

ある事を実感出来たり、「ありがとう」の言葉を通して気持ちの良いコミュニケーションに繋がっています。

趣味はパソコンでの情報収集やスマートフォンでの写真撮影、スーパー戦隊大百科を片手に職員へのご教授！など沢山あります。願いの実現に向けて「明日も仕事を頑張るぞー」と、色んなスーパーヒーローに変身して元気に出勤される浅谷さんです。

清水亮如



一つ一つシワを伸ばして丁寧に

職員

「経験から学びこれからに活かす」

ゆたか生活支援事業所みなみ 杉本雅明



早いもので入職して10年目を迎えました。今までは「若手」と呼ばれることが多かったですが、いつの間にか「中堅」と呼ばれるようになりました。

自分なりに仕事のペースが分かり、周りが見えるようになってきました。働く上で大切にしていることは、職員の間でも砂漠では枯れてしまい、逆に環境が良ければ放っておいても育ちます。私自身が環境に恵まれます。私自身が環境に恵まれます。仲間にとってもグループホームは一番落ち着ける場所であってほしいので、一番身近にいる職員も仲間の日々の成長を楽しめるような現場になるようにしていけたらと思います。



勉強をサポート

4年目に主任、9年目に副所長となり、入職時に思い描いたよりも早いキャリアアップでした。順調といえば順調ですが、私では力不足と感じる部分も多いです。所長と一緒に働く職員に支えられながらなんとか1年やる事が出来、